

比較文化演習AⅢ

科目ナンバリング JLT-401
選択必修 2単位

細田 明宏

1. 授業の概要(ねらい)

「日本の音楽・芸能」をテーマにして、ゼミナール形式で行います。ゼミナール形式とは、あるテーマに沿って参加者が発表を行い、その後討議を行う研究の進め方です。履修者は、音楽や演劇に関する発表を、最低一回は行うこととします(テーマは各自で決めます)。その際には資料を作成して聞き手に配布し、それに従って発表を進めます。聞き手は発表に関する疑問点などを積極的に質問してください。

2. 授業の到達目標

自分の意見を発表し、また発表された内容に対して討議をするゼミナール形式に慣れ、そこで自分の考えを鍛えることを目標とします。

3. 成績評価の方法および基準

発表(40%)、質問(30%)、平常点(30%)を合わせて評価します。発表については作成した資料やプレゼンテーション(発表のしかた)を、質問については積極性や質問内容を、主な評価の対象とします。一定数以上の欠席があれば単位は認められません。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

発表に際して配布資料を作成してください。

6. その他履修上の注意事項

発表後の討議の時間には積極的に発言して下さい。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス・自己紹介
- 【第2回】 口頭発表でやるべきこと
- 【第3回】 資料調査の方法
- 【第4回】 構成について
- 【第5回】 ディスカッションの進め方について(オンライン授業)
- 【第6回】 発表と質疑
- 【第7回】 発表と質疑
- 【第8回】 発表と質疑
- 【第9回】 発表と質疑
- 【第10回】 発表と質疑
- 【第11回】 発表と質疑
- 【第12回】 発表と質疑
- 【第13回】 発表と質疑
- 【第14回】 発表と質疑
- 【第15回】 まとめ